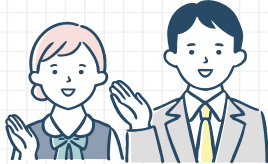


委員会では調査を行いました

Q 委員会とは？

A 議員全員が参集する本会議の下審査機関として、専門的・能率的な審査や、重要な事柄についての調査をするための会議です。



常任委員会

部門別に、本会議から付託された議案や送付された陳情の審査、所管する事項の調査などを行う委員会です。以下の4つの委員会があります。

- 総務委員会：危機管理課、企画部、総務部、財務部、消防本部、他の委員会の所管に属さない事項に関する事
- 福祉委員会：福祉部、子ども健康部、市民病院に関する事
- 市民文教委員会：市民部、教育委員会に関する事
- 産業建設委員会：産業環境部、建設部、都市整備部、上下水道部に関する事

特別委員会

常任委員会とは別に、市の重要な課題など特定の事柄について、専門的に審査や調査を行う委員会です。政策課題調査特別委員会、予算特別委員会、決算特別委員会があります。

こんなことを聞きました

委員会で行った調査について、主な質疑・答弁を掲載します。

公共施設の管理・保全に関する計画を改訂

総務委員会 6月18日

所管事務調査

・第2期公共施設等総合管理計画(案)
・公共施設中長期保全計画(令和8年8月改訂版)(案)

第2期公共施設等総合管理計画(案)および、公共施設中長期保全計画(令和8年8月改訂版)(案)について説明を受けました。

主な質疑・答弁は次のとおりです。

【問】第1期計画では、どのような施設の統廃合や複合化、長寿命化等に取り組み、どのような成果があったか。

【答】小坂井地区の施設再編プロジェクトや、三上、麻生田、睦美地区市民館の統合による豊川東部地区市民館の新設などを手掛け、7年4月1日現在、面積ベースで約2・7パーセントを縮減できた。

【問】老朽化施設を長寿命化することで、建物を長く利用することになるが、安全性についてどのように確認しているのか。

【答】構造体耐久性調査を実施し、状況を確認するとともに、使用可能期間などの評価により、今後の施設の在り方を定める取り組みを行っている。

【問】現在、他の団体と連携して管理している施設および、将来的に広域連携を考えている施設は。

【答】現在、下水道事業においては、豊川流域下水道として広域化が図られているほか、将来的には、豊川市および蒲郡市のごみ焼却施設を集約した新施設の整備を目指すこととしている。

行政視察の受け入れを行いました

5月19日 静岡県焼津市

「豊川市総合交通戦略」

市議会では、市の各種施策について、全国の議会関係者の皆様からの視察の受け入れを行っています。

視察では、事業の概要等の説明後、質疑応答や議場見学等を行い、貴重な意見・情報交換の場となりました。

陳情を審査しました

陳情第2号 市営住宅における管理・施工の適正性および個人情報保護の遵守に関する陳情

陳情者 鈴木 佳登

陳情第3号 最低賃金の全国一律化と大幅引き上げ、中小企業支援の拡充と公正取引を求める意見書の提出を求める陳情

陳情第4号 愛知県最低賃金の適切な引き上げに愛知県が積極的な役割を発揮することを求める意見書の提出を求める陳情

陳情第5号 公契約事業従事者の適正賃金と安定雇用を確保する公契約法の制定を求める意見書の提出を求める陳情

陳情第6号 住民の安全・安心を支える行政サービス体制・機能の充実を求める意見書の提出を求める陳情

陳情第7号 地方財政の拡充を求める意見書の提出を求める陳情

陳情第8号 保育所職員の人材定着・確保のため保育士配置基準と公定価格を抜本的に改善し、離職しない保育職場の実現を求める意見書の提出を求める陳情

陳情第9号 介護・障害福祉職場の1人夜勤をなくし、複数配置を基準とすることを求める意見書の提出を求める陳情

陳情第10号 教職員の長時間過密労働を解消するための実効ある施策をすすめ、年間を通じた教員の未配置を直ちに解消するための施策を求める意見書の提出を求める陳情

陳情者 春の自治体キャラバン実行委員会 代表 西尾 美沙子

結果

陳情第2号から陳情第10号は、各派交渉会において、「聞きおく」と決定。

※ 議会の審査になじまないと判断された陳情や、国や県に対して意見書の提出を求める陳情は、申し合わせにより各派交渉会において「聞きおく」とし、全議員にその写しを配付します。なお、「聞きおく」とされた陳情のうち、陳情内容により意見書や決議の発議が必要と各会派が判断した場合は、案を備えて議長に申し出ることにしています。今期定例会においては、陳情第3号、陳情第4号、陳情第7号について意見書発議の申し出があり、各派交渉会において協議を行った結果、意見書の発議は見送ることとなりました。

キュパティーノ市中学生使節団が豊川市議会を訪れました



6月26日（金）議場にて

豊川市は、アメリカ合衆国カリフォルニア州キュパティーノ市と姉妹都市提携を結び、今年で48周年を迎えます。

姉妹都市提携を結んで以来、新型コロナウイルスの影響により一時中止となった時期を除き、毎年、派遣交流を行ってきました。

今年は、19名が豊川市議会にも訪れ、議場を見学されました。

6月25日（木）から7月1日（水）までの7日間、豊川市に滞在し、交流を深めました。

